

校内研修計画

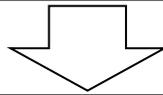
研究内容

1) 研究授業を通じた指導法の研究

- (1) 全学年の公開授業（算数科）、
指導案検討と授業後の視点を絞った研究協議により授業力向上を目指す。
- (2) 各学年の授業改善プランに基づいた授業実践

○目指す児童の姿

- 1 目的に応じて絵や形、図形やテープ図、線分図などを用いて考える力や思考力、表現力が身に付いている。
- 2 表現活動の中で、話し合いわざを身に付け言語活動が充実している。
- 3 授業の中で、自分で課題を見つけ、さらに自主学習の中で取り組むことができる。



○1年間の取組の重点（全学年共通）

- 1 数学的な見方・考え方を働かせ課題解決ができるよう、課題提示の仕方や発問を工夫する。
- 2 とも学びにおいて、問題解決の過程や結果を数学的な表現で伝え合うことができるようにする。
- 3 数学的活動を工夫し、学習のまとめと振り返りを充実させる。

- (3) 講師を招聘、研修計画（別紙）に沿った校内研修の推進
- (4) 児童への学習アンケートや授業評価アンケートの実施と検証
- (5) 算数科問題解決型授業についての理論学習
 - ①少人数の特性を生かした授業形態
 - ②言語活動を充実させるための工夫

2) 主体的・対話的な学びに向けた研究

- (1) 主体的な学びにつなげるための取組
 - ①授業の流れが分かる進行表の活用と学習リーダーの育成
 - ②問いが生まれる課題設定の工夫
 - ③主体的な学習につなげるまとめと振り返りの充実

(2) 対話的に学ぶための取組

- ①児童が主体となる話し合い活動（とも学び）
- ②必然性のある対話や表現活動ができる場面設定

3) 表現力を身に付けるための取組（言語活動の充実に向けて）

- ①教育活動全体での言語活動の充実
- ②ICT機器や発表ボードの活用と掲示の方法の工夫
- ③目的に応じた方法を用いて考え表現し、分かりやすく説明できる力の育成
- ④学習のまとめや振り返りの発表方法の工夫
- ⑤学習規律やノートの使い方の指導の徹底

4) 基礎学力の定着と学力の向上

(1) 学力調査等による児童の実態分析

（全国学力調査、県学力調査、到達度把握検査・単元テスト等の活用）

(2) 帯タイム・加力学習

漢字タイム（月・金）・計算タイム（火・木） 13：35～13：45
チャレンジタイム（火曜日7校時・1年生6校時）

(3) 基礎学力の定着（校内支援委員会、加力学習等）

個の課題に応じた加力学習と支援

(4) 家庭学習の定着と充実

- ①低学年からの学習習慣の形成をめざした取り組み
- ②自主学習の手引きの活用・家庭学習アンケートでの実態把握と検証
- ③自主学習ノートの交流（予習型の家庭学習へ）

(5) 読書活動の推進

- ①各学年の課題図書の設定
- ②学期ごとの読書量把握

5) 仲間作り活動の推進

(1) 児童が生き生きと活動する学級づくり

- ①QU・生活アンケートの分析と活用
- ②スクールカウンセラーとの連携

(2) 特別支援教育、人権教育、道徳教育、キャリア教育の推進

(3) 学校行事、集会活動、縦割り班活動

(4) 児童会活動、全校レク（みさきっこタイム・なかよしタイム）